

リハビリ便り

夏が過ぎ、涼しくなる時期になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

入院中は環境や生活リズムが変わるため、活動量の低下や認知症の進行、他者との交流が減るなど退院後の生活や社会性に影響が出ることがあります。

地域包括ケア病棟では身体機能だけでなく、退院後の社会参加を支援する役割もあります。今回は活動量や生活リズムなどの改善・維持を図るために行っている作業活動についてご紹介致します。

★作業活動の対象となる方の例

- リハビリや食事、排泄誘導以外は部屋で過ごす。
- 入院前よりも意欲や活動量が低下している。
- 夜に起きて活動し、日中は寝てしまう事が多い。
- （昼夜逆転している）
- 運動だけでなく、作業活動もしたい。

★実施目的・内容

- 日中の活動量の確保
- 離床時間の確保
- 生活リズムの改善、維持（昼夜逆転の予防）
- 認知機能訓練（計算や脳トレ等の課題）
- 趣味や余暇活動の提供
- 他者との交流
- 上肢機能訓練（創作、手作業など）
- 入院生活の気分転換

【認知機能訓練】



【余暇活動】



★今後について

今後は自宅生活やデイサービスの利用など、退院後の生活スタイルに合わせた対応も行っていくと考えています。

★おわりに

開放感のある場所で活動を行う事で気分転換を図ったり、他の患者さんやご家族との交流の場となればと考えています。活動中でも患者さんのリハビリの進捗状況を可能な範囲でお伝えしたり、面会も可能ですので、お気軽にお声かけください。



（作業療法士 川上・文樹）

お知らせ

訪問リハビリテーション

生活の場にセラピストが伺いリハビリを行います。在宅で実用的な生活動作訓練や、自宅環境の調整、生活内での運動の習慣付け、家族指導等行います。

問い合わせ先：リハビリテーション課 担当者：安東

電話：0570-034577（代表）

ご不明な点など、まずはお気軽にご相談ください。または、担当のケアマネジャーなどへお問い合わせ下さい。

